

ひまわり

Vol.53

【1月5日発行】

新春号

- 1 「特集」 新年のごあいさつ
- 2 「特集」 新川中学校絵画寄贈について
- 3 「小林記念病院」 だより
4 階回復期増床のご案内
碧南市立新川中学校応急処置講座開催について
- 4 「健康管理センター」 だより
週刊文春に掲載されました
- 5 「老人保健施設ひまわり」 だより
「ひまわり訪問リハビリテーション」
を開設しました

- 6 「在宅サービス」 だより
小規模多機能型居宅介護開設のご案内
- 7 「碧南市養護老人ホーム」 だより
特別養護老人ホームの建築が始まりました
朝と夕方 体操を始めました
- 8 「リハビリ」 だより
高齢者が転倒で起こりやすい骨折
ロボットスーツ HAL 体験会を開催しました
- 9 「栄養」 だより 「みぞれ鍋」 レシピ
- 10 「部署紹介」 栄養管理科の紹介



愛生館

コバヤシヘルスケアシステム

寒中お見舞い申し上げます

追悼

平成24年12月17日（月）に当法人の小林清名誉院長が97歳で逝去いたしました。故人は、当法人の創業者で昭和20年から碧南の地で診療一筋に歩まれた方でした。これからは天国から私たちを見守っていただけるものと思います。

碧南教会での前夜祭および葬儀式にご参列いただきました多数の皆さまには心より御礼申し上げます。

また、多数のご弔電も頂き、誠にありがとうございました。



2012年は10月に「碧南市養護老人ホーム」を新築移転することができました。

愛生館使命「人々の人生をより豊かにします」の一環として、12月に小林記念病院でも、4階療養病棟を「回復期リハビリテーション病棟」へ転換しました。また、少子高齢化社会への変化に伴う痛みを緩和すべく、老人保健施設ひまわり・碧南市養護老人ホームの隣接地に、「特別養護老人ホーム」80床および「小規模多機能型居宅介護施設」の建築を11月に始めました。手狭になった「小林記念病院」の改築も近々始める予定です。

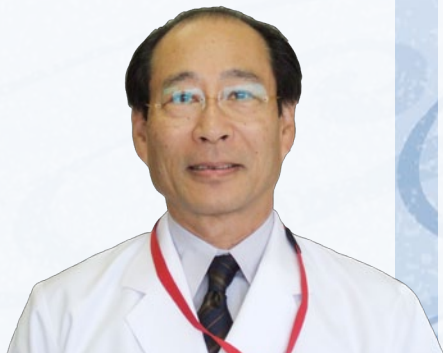
「医療・介護・福祉のユートピア」への歩を、一歩前へ進めることができました。ひとえに皆様のご協力とご理解の賜物と、心より御礼申し上げます。

稲盛哲学伝道師としては、シリコンバレー・横浜・大連・石川の4カ所の講演しかできませんでした。

来年10月に名古屋で開催される「日本医療法人協会経営セミナー」の会長講演として「稲盛 JAL 元会長に学ぶフィロソフィによる病院経営」他により、もう少し役目を果たしたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。

愛生館コバヤシヘルスケアシステム

理事長 **小林 武彦**



去年は、当院4階病棟を介護療養（69床）から回復期リハビリテーション病棟（50床）へ変更して患者さん・御家族には大変ご心配をおかけ致しました。無事移行できましたことを感謝申し上げます。

今年は医師、多職種の協働による「チーム医療」で、全人的な専門医療を在宅生活につなげるため機能分化と密接な連携を目指します。(1)質の高い医療、回復期リハの充実、患者さんサービスの向上。(2)地域連携ネットワークと介護福祉サービスの強化。(3)病院の増改築。(4)IT設備の充実と環境整備。(5)病院機能評価の更新など、地域密着型病院として『切れ目のない医療・介護』の体制を確立し、患者さんに愛される最高の病院になるように努力します。よろしく御支援・御鞭撻をお願い申し上げます。

小林記念病院

院長 **今泉 宗久**



病気の治療方法は、手術、薬物（のみぐすり、注射）、栄養およびリハビリテーションの四つの方法が中心です。高齢者は、体力が低下していますので、これを改善しなければならないのですが、その方法が、栄養とリハビリなのです。老健ひまわりでは、衰えた体力を回復し、元気になって、長生きしていただくために、栄養治療とリハビリを積極的に行っています。皆様方の御利用をお待ちいたしております。

老人保護施設ひまわり

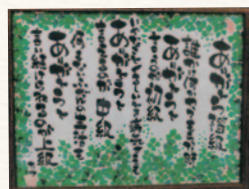
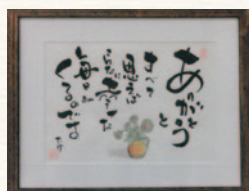
施設長 **日比 道昭**



障害を乗り越え活躍する 「表現者 - たけ -」の絵画を 新川中学校に寄贈しました。



10月10日(水)に新川中学校において、河村武明氏の絵画10点の寄贈式が執り行われました。医療法人愛生館として、地域の学校の生徒の皆さんが、情緒豊かで健康にのびのび育って欲しいという想いを込めて、寄贈させていただいたものです。この絵画については、新川中学校において、当法人の寄贈の趣旨を汲んで、選定していただいたものです。この作品の画家の河村武明氏は、障害を抱えながらも活躍されている方です(紹介文をご参照ください)。当日は、河村武明氏の講演会や絵画の紹介など生徒の皆さんにとって大変有意義な時間となったと思います。



「ありがとう」と「笑顔」
が
い
っ
ぱ
い
の
学
校
に
し
ま
す。



寄贈させて頂きました作品たち

「表現者たけ」について

2001年10月に突然、脳梗塞で倒れ、48時間後に救出されたものの、言語障害、聴覚障害、右手麻痺、失語症という重い後遺症を残す。「もう、死んだ方がましだ」という深い絶望感の中、残った左手を使って絵と詩を表現しはじめる。表現者として自活することを決め、退院を待たずに、自作のポストカードを京都のストリート(路上)で販売する。その活動がマスコミの注目を集め、新聞やテレビ、雑誌などのメディアの取材が相次ぎ「たけ」の生き方に共鳴する新たなファンを獲得した。現在は、全国での個展、無口な講演、企業広告、雑誌の連載など、その活動は「日本一無口な路上の絵売り」(たけ曰く)の枠を超えて、広がり続けている。今は、「この星に『ありがとう人間』が増えたら明るい星になる」という想いで、全国500ヶ所(小学校、中学校、福祉、医療関係は無料)の無口な講演【ありがとうプロジェクト】に挑戦中。
お問い合わせ、お申し込み webmaster@hyougensya-take.com まで



大好評発売中
A5判 95ページ
税込 525円

たけ 10周年記念小冊子
たけ講演議事録・自叙伝ボク
もわかった不思議な「あり
がとう」のチカラ

■たけオフィシャルホームページ
<http://hyougensya-take.com/>
■mixi ☆たけ☆
■facebook 河村武明



機能訓練室



食堂

4 階回復期増床の案内

12 月 1 日から、4 階療養病棟が、回復期リハビリテーション病棟へと生まれ変わりました。回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患・大腿骨頸部骨折などの患者さんに対して、家庭復帰を目的にリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。

小林記念病院では、すでに 3 階病棟に A 病棟と B 病棟の計 70 床の回復期リハビリテーション病棟があり、今回の増床により回復期リハビリテーション病棟は 120 床となりました。今回の変更にあたって、患者さんの自立・回復に向けた援助をより円滑に行っていくため、11 月 12 日から病棟改修工事を始めました。トイレの増設、リハビリ室・食堂の新設、浴室の改築、患者・ご家族さんへの介護指導や相談を行う部屋を整備する予定です。

また、患者さんに回復期リハビリテーション病棟として、より良い医療・看護・リハビリを提供させていただくため、数カ月前から研修・準備も行ってきました。外部講師（前方連携病院専門医）やリハビリスタッフによる研修会、3 階回復期リハビリテーション病棟での看護・介護研修会等も行いました。また、各種書類や必要物品、患者さんのニーズに合った勤務形態などを検討し、導入しています。入院された患者さんに対し、医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、臨床心理士、ソーシャルワーカー、栄養士等と共にチームで援助させていただきたいと思えます。宜しくお願いいたします。



ADL 訓練の様子

回復期リハビリテーション病棟スタッフ

碧南市立新川中学校 応急処置講座開催について

平成 24 年 11 月 9 日（金）に「地震・防災に関する総合的な学習」の一環として、碧南市立新川中学校 1 年生 14 名の皆さんと応急処置講座を当院で開催いたしました。けがをした方を安全な場所へ移動する方法や身近にある物での応急処置方法、AED の使い方などの講義と演習を行いました。短時間ではありましたが、皆さんが真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。もしもの時に今回の講座を役立てていただけると幸いです。



週刊文春（11月8日号）に 掲載されました

『本当に信頼できる「人間ドック」厳選リスト』全国 164 施設（愛知県内 8 施設）の 1 つに当センターが選ばれ、週刊文春（11 月 8 日号）に掲載されました。当センターが、



①人間ドック認定医
がいる。



②人間ドック指導医
がいる。



③機能評価認定施設
である。



④専門医を育てる
研修施設である



ことなどが、評価されたためです。

健康管理センター待合、外来待合、外来リハビリ、サンウッド（病院 1 階食堂）、老人保健施設ひまわりに掲載雑誌を設置いたしておりますので、ご覧ください。

お問い合わせ：
☎ 0566-41-6548



ひまわり



訪問リハビリテーション開設



「ひまわり訪問リハビリテーション」を開設しました。
《老人保健施設ひまわりでは在宅復帰を支援しています》

疾病や認知症などを原因に要介護状態になった方々が入所されています。入所者に対してより良い状態で在宅復帰をして頂けるよう様々な取り組みをしています。

☆訪問リハビリテーション

12月より、ひまわりを退所された方を対象にして訪問リハビリを実施しています。施設で見慣れたリハビリスタッフがご自宅に伺います。在宅生活に対する不安や問題点を解決し、安心して過ごせるように取り組みます。

☆充実した在宅サービス

ひまわりでは退所後も通所リハビリや短期入所などの在宅サービスで生活を支援していきます。

☆栄養管理科

ご自宅で安全に食事を摂って頂くために、栄養や食事形態の指導を行います。食品の紹介や調理方法の指導も必要に応じて行っています。

☆看護介護

ご自宅での生活を想定した環境作りや生活習慣を設定して対応しています。例として排泄の時間帯を家族が対応できる時間に設定して誘導するなどです。本人だけでなく、家族の生活も考えた援助を行っています。



☆リハビリ

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士と多職種の職員を配置しています。入所後3ヶ月内は日曜日、祝日を含め週7回（年末年始など一部の祝日を除く）集中的にリハビリを実施しています。

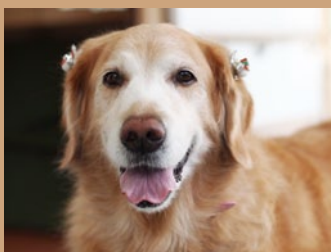
また、在宅に戻られる前にはご自宅を訪問し、環境整備や介助方法の指導などを行います。



お問い合わせ：
☎ 0566-41-0007
(リハビリ科)

【訃報】

当施設のセラピー犬「モモ」が、12月14日に11歳と8ヶ月の天寿を全うし、永眠しました。利用者さんの心を癒し、利用者さんやスタッフからも愛されていました。また、たくさんの方に可愛がって頂きました。ありがとうございました。



平成 25 年 4 月 1 日

(仮称) 小規模多機能型ホーム 「ひまわり」開設予定

小規模多機能型居宅介護は、「通い」を中心に利用しながら、必要に応じて「泊まり」や「訪問」を受けることができる、一種のセットメニューのようなサービスです。3 種類の介護サービスを顔なじみのスタッフから受けることができるため、人見知りしがちな方でも安心して利用できます。



在宅サービスだより

碧南市で初めての小規模多機能型居宅介護です。

対象者

要支援 1・2、要介護 1～5 の方
この先も住み慣れた在宅で頑張って生活される方
独居・日中独居の方、認知症で在宅生活を継続される方 など
☆ 特に現在通所されている方で「泊まり」を必要とされている方はご相談ください。

費用目安

※ 食事代、おむつ代、日用品費、宿泊の際の部屋代等は別途必要。
※ 上記以外にも、施設の体制によって個人負担額が加算される場合があります。

要支援 1	44,690 円 / 月 (自己負担額 : 4,469 円 / 月)
要支援 2	79,950 円 / 月 (自己負担額 : 7,995 円 / 月)
要介護 1	114,300 円 / 月 (自己負担額 : 11,430 円 / 月)
要介護 2	163,250 円 / 月 (自己負担額 : 16,325 円 / 月)
要介護 3	232,860 円 / 月 (自己負担額 : 232,86 円 / 月)
要介護 4	255,970 円 / 月 (自己負担額 : 25,597 円 / 月)
要介護 5	281,200 円 / 月 (自己負担額 : 28,120 円 / 月)

登録定員 25 名 (通い : 15 名 / 宿泊 : 9 名 / 訪問 : 随時)

今後の予定

利用申込受付 平成 25 年 1 月 7 日 (月) ~
申込利用者訪問審査 平成 25 年 2 月 1 日 (金) ~

パンフレット、利用者料金表、利用申込書等は
後日ご案内させていただきます。

お問い合わせ :
☎ 0566-41-7621
(新規事業準備室 豊田)



高さ 25mの杭打ち機
が作業をしている様子



特別養護老人ホームの 建築が始まりました



高齢者福祉拠点の第 1 期工事である「養護老人ホーム」の運営が 10 月に始まりました。続いて、第 2 期工事の「特別養護老人ホーム」の建築が本格的に始まりました。

まず始めは、旧養護老人ホームの解体です。大変良い建築物だったようで、解体業者の方が感心しながら作業を進めていました。

解体後の敷地は大変広大で、高さ 25 mの杭打ち機 2 台で作業している姿は壮観です。

平成 25 年 9 月に竣工する施設は、介護を必要とする高齢の方々だけでなく、訪れる方や地域の方々にも親しみやすい施設となる事を目指しております。これからより一層努力致しますので、今後とも宜しくお願い致します。



朝と夕方の体操を始めました

昨年 10 月に養護老人ホームが新築され 3 階建になりました。利用者さんは、各階への移動がエレベーターとなり、施設内の歩行距離も短くなりました。また、寒くなるにつれ散歩に出掛ける人も少なくなっているなど、運動量が減ったことによる体力低下が心配なテーマとなりました。そこで、今までは朝のラジオ体操のみでしたが、平日の朝(約 15 分間)・夕(約 10 分間)、各階フロアーにて、体操を始めました。朝は、「ラジオ

体操」・「足踏み体操」・「ストレッチ体操」、夕方は、「棒体操」・「足踏み体操」です。

原則全員参加で音楽に合わせて行います。立位で体操に参加できない人は、椅子に腰掛けたまま足を動かしたり、手を振ったりして体を動かしています。まだ始めて間もないですが、皆さん率先して真剣に取り組まれています。少しずつ体を慣らしていき、体力維持、さらには体力向上となれば嬉しいです。



ストレッチ体操



棒体操

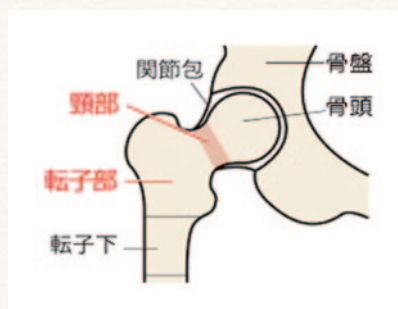
お問い合わせ：
☎ 0566-41-0895
(担当：神谷)

高齢者の転倒で起こりやすい骨折

骨粗鬆症などで骨がもろい高齢者は、転倒による骨折の割合が特に高くなります。今回は転倒による骨折で最も多く発生する「だいたいこつがいぶこっせつ大腿骨頸部骨折」について紹介します。

大腿骨頸部骨折とは

大腿骨頸部骨折とは太ももの骨（大腿骨）の付け根に近い部分の骨折です。95% は転倒で発生し、痛みにより体動困難となり色々な合併症（床ずれや肺炎、認知症など）を引き起こし生命に関わる問題となることもあります。



症 状

一般的に骨折した直後から脚の付け根の痛みと腫れがあり、歩くことができません。

治療方法

治療法は大きく分けて①手術療法と②保存療法があります。

①手術療法

様々なものがあり、どの手術にするかは骨折の仕方によります。高齢者の場合、全身状態が許せば手術によって早期に痛みをとり体重をかけられるようにして、リハビリを開始することが望ましいと考えられています。



②保存療法

骨のずれがほとんどなく、比較的若い方に場合に適用となります。また、手術や麻酔による身体への負担が大きく、手術をする危険性が高い方の場合にも適用となります。



ロボットスーツ HAL 体験会を開催しました

平成 24 年 11 月 7 日(水)と 11 月 19 日(月)の両日、「ロボットスーツ HAL」の体験会を開催しました。「ロボットスーツ HAL」とは、身体に装着することによって、身体機能を補助・増幅・拡張することができる世界初のサイボーグ型ロボットです。

NPO 法人あいちサポートセンター未来のコーディネーターで販売代理店の大和ハウス工業会社の指導の下、患者さん、医師、看護師、リハビリスタッフ等総勢 30 名以上が参加・体験しました。現在、病院への導入を検討しています。



ロボットスーツ HAL を装着し歩行しているところ



お問い合わせ：
☎0566-41-0004
(リハビリ科)

年末年始で食べすぎたり 飲みすぎたりしていませんか？

大根は年末年始で疲れた胃にはとてもやさしい食材です。大根には消化を促進する作用があるジアスターゼと呼ばれる酵素が豊富に含まれているからです。今回はその大根をたっぷり使ったお鍋をご紹介します。



みぞれ鍋

栄養素 (1人分)
エネルギー……160kcal
たんぱく質……20.4g
塩分………2.7g



作り方

- 1 大根は皮をむき、すりおろす。
- 2 白菜・春菊・豆腐は食べやすい大きさに切る。
- 3 しいたけは軸を取り、えのきは根元を切る。人参は3mm程度の輪切り、ねぎは斜め切りにする。
- 4 土鍋に **A** を入れて火にかける。
- 5 煮立ったら、春菊と大根おろし以外の食材を加えて煮る。
- 6 食材に火が通ったら、アクを取る。
- 7 春菊、大根おろしを加えひと煮立ちしたら出来上がり。

【材料】 4人分

大根	1/2 本
白菜	1/4 株
しいたけ	4 枚
豆腐	1/2 丁
ねぎ	1 本
春菊	1 束
人参	1/3 本
えのき	1 袋
たら	4 切

だし汁	800ml
酒	大さじ 1
しょうゆ	大さじ 1
みりん	小さじ 2
塩	小さじ 1

A

健康ウォーキング開催しました！

恒例の健康ウォーキングを平成 24 年 11 月 17 日（土）に開催しました。当日は、あいにくの雨で外を歩くことはできませんでしたが、屋内でバランスの良い食事の摂り方についてと正しい歩き方についての講話を行いました。実際に参加者の方に歩いていただいて歩き方のチェックも行い、みなさん興味津々に取り組んでいただきました。健康ウォーキングは年 2 回開催しており、次回は来年の 5 月に開催予定です。年齢性別関係なくご参加いただけますので今後のみなさんのご参加をぜひお待ちしております。

お問い合わせ：
☎0566-41-0004
(栄養管理科：岡村、土田)



栄養管理科紹介（病院、老健、配食サービス）

こんにちは 愛生館コバヤシヘルスケアシステムの栄養管理科（病院・老人保健施設ひまわり）です。わたしたちは、管理栄養士 5 名、栄養士 3 名、調理師 12 名を含むスタッフ数 46 名で運営しています。

入院、入所生活の中で一番の楽しみはお食事です。スタッフみんなで知恵を出しあい、おいしい食事作りに日々工夫を重ねています。

病院の回復期リハビリテーション病棟やデイケアでは、患者さんの目の前で、調理師が腕を奮う「食事レクレーション」、「楽食倶楽部」というイベントを行っています。季節を味わっていただくメニューに加え、料理が出来上がるまでの香りも楽しんでいただき、入院生活に彩りを添えています。

安全な食事づくりの取り組みをしています。噛む力が弱ってきたり、食物の飲み込みがし難くなった方へのお食事にも、気を配っています。

また、管理栄養士は患者さんの栄養状態、病態と食事との関わり、食欲、嗜好、在宅での調理環境などを把握し、食事の面から患者さんを支援しています。老人保健施設ひまわりでは、高齢者のご自宅までお食事をお届けする「配食サービス」を 365 日行っています。毎日、お声をかけ安否確認も行っています。



食事レクレーション



楽食倶楽部



おせち料理

わたしたちは、地域の方々の健やかな食生活をスタッフみんなで支えています。



お問い合わせ：
☎ 0566-41-0004
(栄養管理科：村松)

外来診療科担当医一覧表

時間帯	診療科	診察室	月		火		水		木		金		土		
午 前	内 科	10	小 林 (明)	一般漢方	秋 田	循環器	＜禁煙外来＞			小 林 (明)	一般漢方	小 林 (明)	一般漢方	小 林 (明)	一般漢方
		11	仲 野	腎臓	今 泉	総合呼吸器	肥 田 野	消化器	肥 田 野	消化器	今 泉	総合呼吸器	大 西	老年	
		12	高 市	消化器	高 市	消化器	宇 治	神経			高 市	消化器	名大循環器	総合循環器	
	外 科	25			安 井	総合外科									
		26					竹 下		安 井	総合外科					
	整形外科	23	小 林 (武)		＜小林 (武) ＞						鈴 木				
		25	＜住 田＞				住 田		住 田		住 田		名大整形		
		26			猪 飼						猪 飼				
	眼 科	22	水 谷		水 谷		水 谷				水 谷		水 谷		
	リハビリテーション科	35	安 井		山 田		猪 飼		小 杉		宇 治		當 山 牛 場 (2)		
午 後	内 科	12											＜中村1・3・5＞ ＜松木2・4＞ 糖尿		
	泌尿器科	12									＜石川 (清) ＞				
	整形外科	16	＜若 尾＞												
		23											＜整形専門医＞		

〔外来診療〕
受付時間 8：30～11：30
診療時間 9：00～12：00

〔休診日〕
●日曜日・祝日
●医師の都合により、変更になる場合がありますのでご了承ください。

※< >の医師の診療についてはお問い合わせください。
※()内の数字は、第()週を表します。

TOPICS

ホームヘルパー 2 級養成研修講座
開講のお知らせ

期 間：平成 25 年 3 月 11 日(月)～6 月 3 日(月)

期間中 月・水コース(祝日の場合翌日振替)

通学制 18 日間+実習 4 日間 計 22 日間

場 所：医療法人 愛生館 研修センター

※教育訓練給付金対象講座

※4 月より制度改正のため、現行制度最終の対象講座になります。
詳細は決定次第、当法人ホームページにてお知らせいたします。

お問合せ先：介護員養成研修講座事務局 曾我・深谷
TEL(090)7680-4607

表紙のご紹介

小林記念病院デイケアセンターにて演じられた、「パピリオン」による「南京玉すだれ」の様子です。

小気味よいリズムにのって、姿を変えるすだれにご利用者および従業員から驚きの声が上がっていました。

編集後記

今回の広報誌には、嬉しいニュースとともに悲しいニュースも掲載させていただきました。物事には誕生もあれば、別れもあるそんなことを感じる機会の多い時期でした。新しい年が皆さまにとって幸福な年となりますように…。



- 小林記念病院
- 小林記念病院デイケアセンター
- しんがわヘルパーステーション
- しんがわ介護サービスセンター
- 碧南市養護老人ホーム
- 健康管理センター
- しんがわ訪問看護ステーション
- しんがわデイサービスセンター
- 老人保健施設ひまわり

〒447-8510 碧南市新川町 3-88
TEL (0566) 41-0004 FAX (0566) 42-5543

ホームページ <http://www.aiseikan.or.jp>
メールアドレス info@aiseikan.or.jp



編集・発行：愛生館コバヤシヘルスケアシステム 広報委員会
平成 25 年 1 月 5 日